

ほっかいどうの社会保障

2011年9月24日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障費を増やして、介護制度の拡充を！

介護に笑顔を！道連絡会が、札幌大通公園で宣伝行動 44人の参加で369筆の署名集まる



9月23日、「介護される人も、する人も、みんな笑顔に！北海道連絡会」は、札幌大通公園で、「国の社会保障予算を大幅に増やして介護制度を拡充させること」を求めて宣伝署名行動を行い44人が参加しました。

労働組合や介護事業所の代表、現場で働くケアマネジャー、ヘルパーさん、老人保健施設の職員などが、次々とマイクを握り、現制度の問題点や改善の方向などを訴えました。

「利用限度額があるため必要な介護が受けられない」「特養ホームが少なく2、3年経たないと入所できない」「制度創設時は月1500円でも高いと言われた保険料が5000円に値上げされようとしている」「介護職員の給与は安くワーキングプア状態の人が多。待遇酷くメンタルヘルス不全も増えている」など。

この日は約1時間の行動で369筆の署名が集まりました。中には、軽度者の保険はずしの動きを聞いて、「周りの人にも署名してもらおうから用紙ほしい」と女性もいました（現在ディサービスの手続き中だそうです）。

また、公園内で、私学助成の署名行動を行っていた高校生たちも署名してくれました。彼女たちは「署名は力にならないとよく言われるが、こうした取り組みで授業料を無料にすることができました」と話します。

道連絡会では、「介護の日」に合わせて、11月11日には「介護110番」12,13日にはパネル展、19日には介護シンポジウム「明日の介護を考える」を予定しています。

72%が「薬代が高い」「支払いに工夫している人」は77%

最高額は8万6千円 がんなどの治療の中断が心配 北海道民医連調査

北海道民医連の保険薬局では、今春、医療費が公費負担でない患者で、高価格の抗がん剤、インスリン製剤、リウマチ治療薬（生物学的製剤）を使用している患者を対象に「窓口一部負担金」意識調査を行いました。8つの薬局が取り組み、53人の回答を得ることができました。

一回の薬代は、最高が85790円で、1割負担でも22890円の方もいました。「高い」と答えた人は71.7%で、「安い」と答えた人は一人もいませんでした。75歳以上の女性は「エンブレルの注射（リウマチ治療薬）で痛みは落ち着いていますが、いつまでお金を払い続けられるか大変心配です」と不安を訴えています。

「支払い限度額」の問いには、「1000円未満」が8人（15.1%）「3000円」が9人（17.0%）「5000円」が17人（32.1%）と答えています。

さらに、75.5%の人が「支払いのための工夫している」と答え、「生活費を切り詰めている」「貯蓄の取り崩し」、中には「借金をしている」と答えた人や薬代を分納している人もいました。

背景には、低年金や低賃金、家族の失業などで経済的大変な上に、検査を含めた医療費、複数の医療機関の受診、通院のために交通費などが考えられます。「外来通院でも国の補助金を増やしてほしい」「国保料をもう少し安くしてほしい」など医療保険制度の改善を求める声も寄せられました。

ファーマケア十勝・あじさい薬局の岡山和也薬局長は「経済的な理由で治療を中断する人もいて心配です。お金がないために必要な治療が受けられないのは憲法25条に反します。窓口負担を軽減する取り組みが必要」と話します。（「北海道民医連新聞」から）

窓口で支払う金額	全体	3割負担	1割負担
①「高い」	71.7% (38)	78.8% (26)	55.6% (10)
②「妥当」	13.2% (7)	9.1% (3)	22.2% (4)
③「安い」	0	0	0

支払いの工夫している	75.5% (40)	84.8% (28)	55.6% (10)
①日々の生活費を切り詰めている	41.5% (22)	54.5% (18)	22.2% (4)
②貯蓄を取り崩している	28.3% (15)	27.3% (9)	22.2% (4)
③その他(借金など)	7.5% (4)	9.1% (3)	5.6% (1)

医療費助成などの意見の提出を！ 北海道がん対策推進条例で意見募集中

募集期間は9月16日から11月11日まで

詳しくは、北海道のホームページなどをご覧ください